

# 新まち通信

## 明日のためにⅢ

みんなで歩いて、地元を再発見しよう！



のご協力を頂き、今回の研修会が実現しました。

研修会では、ワークショップによる住民参加の手法を学ぼうと、南は大分県から北は富山県まで9名が参加され、神戸区民を中心に参加された13名の地元参加者とともに新たなまちづくりの手法を学び、交流を深めました。

初日は、講師の先生方よりワークショップの基礎や先進事例などをお聞きし、4班に分かれたあとテーマに沿って現地を歩きながら問題点を話し合い、写真を撮りました。2日目は、写真を整理しながら課題について意見を出し合い、模造紙に成果をまとめたあと、班毎に発表しました。

2月9日(水)10日(木) 富士見町 御射山神戸区公民館で、第11回ふるさと水と土基金全国研修会(ワークショップ実践コース)が開催されました。

昨年、富士見町の有志が中心となって、御射山神戸区のため池周辺をフィールドに、地元に住んでいる人達が地元を学び、地域を再発見しようという「地元学イベント」が開催されました。そのことをきっかけに、日本グラウンドワーク協会と全国土地改良事業団体連合会

この手法を実践することで驚くことは、テーマを決めて地元を歩くことで、今まで見えなかったものが確実に見えてくることです。研修が終わる頃には、この地域では何が課題で今取り組まなければならぬというものは何かを整理され、初めて富士見町に来られた方々と地元参加者が意見交換することで、地域の進むべき方向が自然と浮かび上がりました。

研修に参加された小林松雄さん(神戸区)は、「テーマを持って地元を歩くことで、今まで知らなかった神戸の歴史や文化を再発見することができた。これからも機会があれば参加し、自分自身でも更に地域のことを研究したい。」とおっしゃっていました。

研修会の最後に行なわれた成果発表では、「手付かずの原風景はこの地域の財産、ぜひ残して欲しい」という要望や一方で有害鳥獣問題、荒廃農地の問題などの課題も浮き彫りになりました。

ワークショップ実践研修を体験し、富士見町が自立をするなかで取り入れるべき住民参加型のひとつのまちづくり手法として、この取り組みを町全体に広げることが必要であると実感しました。

新しいまちづくり係は、ひきつづき地域資源を活かしたまちづくりに向けて具体的な取り組みを研究してまいります。

このコーナーに関する「ご意見ご感想」をお寄せください。

問い合わせ  
総務課新しいまちづくり係  
☎62・93228 (有)93228  
FAX 62・4481  
e-mail: shinmachi@town.fujimi.nagano.jp

# 高原の風にふかれて

## 始まります 地域講座

昨年11月より準備を進めてきました地域講座がいよいよ始まりです。これは、生涯学習係、新しいまちづくり係、5名の町民の方で日頃感じていることから話し合い進めてきたものです。

富士見町をもっと住みやすく、もっと素敵な町にするためにみんなで考え討論することを基本に考えます。テーマは「再発見、人も自然も歴史も街も」で富士見のよさを考え発見する機会と考えています。富士見の何がよいところなのか、どんな活動をしている人がいるのか、どんな町になって欲しいと願っているか、何があればいい町になるのか。月1回程度のペースで考えていく講座です。講座内容は具体的に町の総合計画やまちづくりに生かせるようにしたい



と考えています。

さまざまな分野でいるんな方の意見を参加者みんなで伺い、みんなで話し合います。話をしてくれる人は、実際に活動している人、意見やアイデアのある人、広く富士見に関心のある人、大学教授や専門家にお願ひする場合もあります。講座の持ち方も討論だけではなく地域を歩いて植物観察や街並み景観などを考える機会も持ちます。

準備会では、子どもたちの様子、変わってきた地域の現状、白林荘などの歴史的建物、地域の中で始まってきた新しい取り組みなどが出されました。意外と富士見に住んでいる私たちが景観や環境に鈍感になっていて、この町に住む賢さが実感できていない。例えば水道の水のおいしさ、ミネラルウォーターで洗車している事など話題になりました。

参加は自由で、テーマもその時々で考えていきます。月末水曜日を中心に開催していく予定です。ご参加をお待ちしています。

問い合わせ  
教育課 生涯学習係  
☎62 7900 (有)8145  
総務課 新しいまちづくり係  
☎62 93228 (有)93228